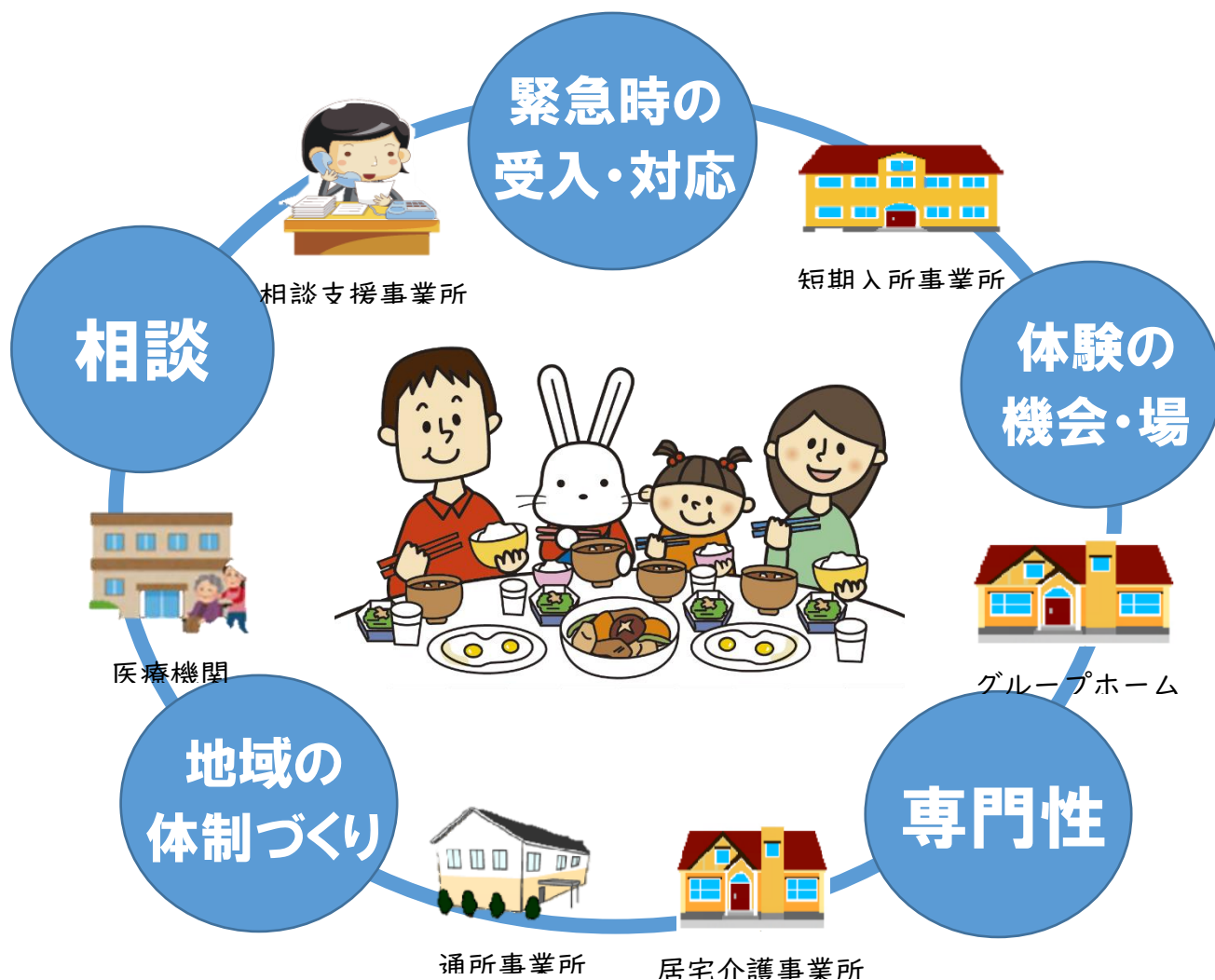


福島市障がい者地域生活支援ネットワーク



福島市地域生活支援ネットワークとは

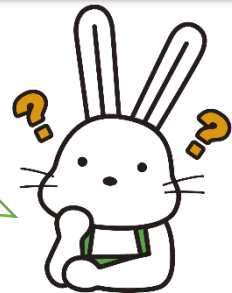
障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、障がい者のご家族を地域全体で支える体制を整備します。

「家族が急な入院をした場合、支援を必要とする障がい者が自宅に取り残されてしまわないだろうか・・・」、「将来を見据え、自立して生活する練習をしたい・・・」。

これらの不安に対し、障がい特性に応じた専門性をもつ相談支援専門員が話を聞き、障がい者のご家族にとって必要な支援の内容を一緒に考えます。

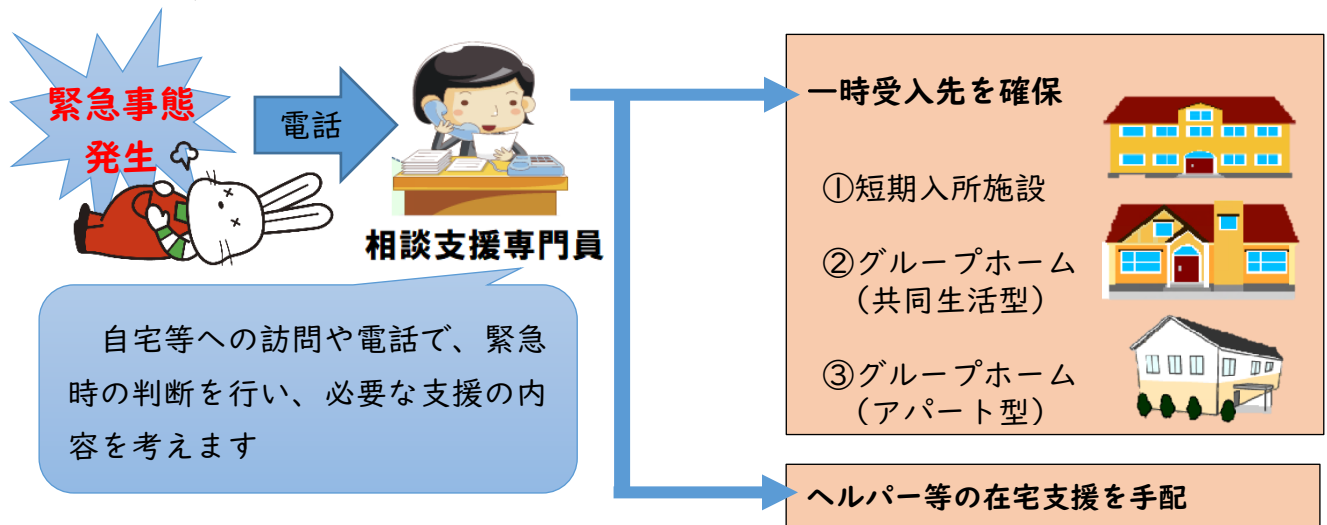
緊急一時受入事業

介護を行う家族が急な入院等で不在になった場合、
どこに相談すれば良いのだろう？
緊急で預かってもらえる場所は見つかるかな？



介護を行う方の急病やその他やむを得ない理由で、障がいをもつご本人が
自宅で生活することができない事態が発生した場合、緊急に必要な支援を
行います。事前に相談支援専門員がご本人やご家族と面談し、緊急時に必要
な支援について一緒に考えます。

緊急時の連絡から支援までの流れ



例1) 身体に障がいのあるAさん(30歳)と 両親の三人暮らし

お父さんが事故で入院することになりました。お母さんは泊まりでお父さんの付き添いをしなければなりません。Aさんは食事・排泄・入浴等、生活全般に支援を要するため、一人では自宅で過ごすことができません。

短期入所施設につなげます

例2) 精神的な病気を抱えたBさん(50歳)と お母さんの二人暮らし

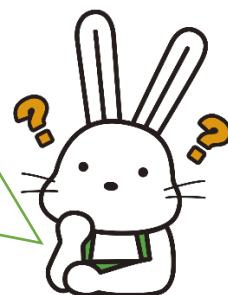
介護者であるお母さんが急な病気で入院することになりました。Bさんは家事全般ができないため、一人での生活に不安がありますが、他者との関わりが苦手であるため、共同生活を行うグループホームに行くことも心配です。

グループホーム(アパート型)につなげます

※ 休日・夜間の緊急時の連絡先は、登録後にお知らせします

自立応援体験事業

将来を見据えて自立できるようにしたいけれど、いきなり一人暮らしをするのは不安・・・。
グループホームもどんなところか分からないし、体験をすることはできないかな？



病院や入所施設から地域への移行を目指す方や親元からの自立を目指す方は、グループホーム(共同生活型またはアパート型)で共同生活や一人暮らしを体験することができます。

例1) 精神的な障がいをもつCさんが一人暮らしを目指し、グループホーム(アパート型)を体験する場合

グループホームの職員と調理や掃除等の訓練を行い、一人暮らしのイメージを持てるようにします。

<体験の場における支援の一例>

- 職員と一緒に掃除や洗濯などの家事に取り組んでみる。
- 職員からのアドバイスに基づき、食事をつくる練習をする。



例2) 知的な障がいを持つDさんが親元からの自立を目指しグループホーム(共同生活型)を体験する場合

グループホームの職員より、食事の提供など必要な支援を受けながら、共同生活のイメージを持てるようにします。

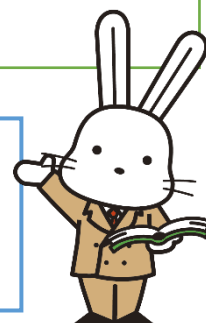
<体験の場における支援の一例>

- 事前に職員と選んだ衣服に着替える練習をする。
- 職員による食事の提供。
- ラベルシール貼りなどの作業、またはウォーキングや音楽鑑賞など、本人に合った日中活動へ参加する。



アパートやグループホームでの生活は初めてなので、抵抗があるし不安だな・・・

体験の場の利用は①日中+宿泊、②日中のみ、③宿泊のみの3パターンから選ぶことができます。また、ご本人の不安軽減のため、希望に応じてご家族も一緒に宿泊することができます。



制度を利用するには、事前登録が必要となります

1. 対象となる方

福島市にお住まいの、障がいのある方。(障害者総合支援法において支援対象となる障がい者。ただし、介護保険制度により支援が受けられる方については、介護保険制度が優先となります。)

2. 登録手続き

安心・安全な支援につなげるため、事前に面談を行い、対象者の情報を市に登録します。

登録については、以下の相談窓口までご相談ください。

社会福祉法人大生福祉会

TEL：024-573-2720

●●事前の備えで、安心安全な生活を●●

【担当課】

福島市役所 障がい福祉課 自立支援係

住 所：福島市五老内町3番1号

